

# 伝統文化の 源流に触れる

開催日: 2017年 11月5日(日)

主催: 一般社団法人老人文化会議

■12:30~開場 ■13:00~開演 ■15:30終了予定 ■会場: 国立文楽劇場・小ホール

## <第1部> 花札

出演: 鈴木悠斎<sup>すずき ゆうさい</sup>こと河内マサヤン氏<sup>かわち</sup>



トランプと並びどこの家庭にも1組はあったのでは。あの任天堂のものといえば、そう「花札」。『「絵」と「書」と「言葉」が三位一体となった、おもしろうためになる花札』という大層なキャッチフレーズで、伝統的なあの小さな「花札」をモチーフに、1メートル近くもある大ききで表現する創作花札。「とりの子」というフスマ紙にアクリル絵の具で着色し、「花札」さながら中央に描かれた短冊に、さらさらと洒落や語呂合わせなどが書かれます。どの札も各地の名所や名物を中心に、歴史・文化などが描かれますが、何が飛び出すやら判らないびっくり箱的な花札です。洒落っ気たっぷり、さていかなる物やら。

1944年大阪で生まれる。奈良教育大学特設書道課を卒業後、グループで「書」活動を始め、「芭蕉シリーズ」や「歌に寄すシリーズ」等を発表。2001年から「書」活動を離れて「花札」制作を始め、近畿域内において随時次々に作品を発表、今やその数約350点。NHKや朝日放送のテレビ番組でもその作品が紹介された。2010年に奈良県立図書情報館に作品120点を寄贈し、2年に1度「花札展」を開催している。2012年に「花札作品集」を出版。再来年には「日本全国花札展」と題して新作花札47点を発表の予定。



## <第2部> 琴

今回は、琴の演奏をお楽しみいただきます。メロディーを奏でる琴を中心に、ハーモニーを奏でる琴を加えての三重奏。秋の午後のひとときにはぴったりの音楽ではないでしょうか。



出演: 橋本 桂子氏<sup>はしもと けいこ</sup> 小池 映理氏<sup>こいけ えり</sup> 田中 千鶴氏<sup>たなか ちづる</sup>

橋本 桂子  
大阪音楽大学邦楽専攻卒業。大学卒業時に最優秀賞受賞。同受賞者演奏会第11回ザ・ローレルコンサート、卒業演奏会、在学時に学内選抜者による演奏会等、これまでに多数の演奏会に出演。また、箏・三絃による伝統音楽に留まらず、ヴァイオリンやフルート、ピアノ等とのアンサンブルにも積極的に取り組んでおり、国内外で様々な演奏会に出演。アーティストのレコーディングにも参加する等、活動の幅を広げている。第4回全国邦楽合奏協会邦楽コンクール金賞。2012年に菊佳友の称号を授かる。菊佳恵美子、片岡リサの両氏に師事。(公社)当道音楽会会員。大阪音楽大学演奏員。

小池 映理  
大阪音楽大学邦楽専攻卒業、同大学専攻科修了。卒業演奏会出演。2009年より片岡リサ氏のもとで箏、三絃を学ぶ。在学中には学内選抜による演奏会の出演をはじめ洋楽とのアンサンブルにも取り組むなど意欲的に活動している。(一財)日本当道音楽会会員。

田中 千鶴  
大阪音楽大学音楽学部器楽学科管楽器専攻(トランペット)を卒業後、邦楽専攻に入学。入学後、学内選抜コンサートへの出演をはじめ、学内外でも様々な演奏会に出演。また、フルートやヴァイオリンとのアンサンブルにも取り組むなど、伝統を大切にしつつジャンルを越えた演奏活動を国内外で行っている。幸楽会アンサンブルコンテスト第3位受賞。第4回全国邦楽合奏協会邦楽コンクール銀賞。2016年3月に同大学短期大学部邦楽コース卒業。トランペットを竹森健二氏、箏・三絃を片岡リサ氏に師事。

演奏曲: ・さくら変奏曲 ・祭の太鼓 ・夢はマーチにのって  
・秋のうたメドレー(里の秋、虫の楽隊、村祭り)  
なお、曲目は当日変更になる場合がございます旨ご了承下さい。



### 現地ご案内



- 会場/国立文楽劇場小ホール(大阪市中央区日本橋1-12-10)  
最寄駅: 堺筋線・千日前線「日本橋」駅下車 7番出口より徒歩1分
- 参加無料  
事前にハガキもしくはメールに住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください。
- 主催・連絡先/一般社団法人老人文化会議  
(〒550-0006大阪市西区江之子島1-7-3)  
TEL: 06-6444-2777 E-mail: info@eldernets.or.jp

※お送りいただいた個人情報はこのイベントおよび、当法人が今後開催するイベントの際にのみ使用させていただきます。